

記入例

産業廃棄物処理実績報告書(××年度実績)

大阪府知事 様
(大阪府泉州農と緑の総合事務所長)

〇〇年 〇月〇〇日

報告者
住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇
氏名 株式会社〇〇〇〇

(法人にあつては名称及び代表者の氏名)
電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

××年度の産業廃棄物の処理実績について、次のとおり報告します。

封筒宛名シールに付している番号 → 事業所番号 200 - 10

事業場の名称	株式会社〇〇〇〇 〇〇工場					電話番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
事業場の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇-〇-〇					FAX番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
産業廃棄物最終処分場の種類	処理した産業廃棄物の種類と年間処理量(単位 t・m ³)						
許可番号	A 汚泥	A 燃えがら	A 土砂・覆土	A がれき類	A ガラスくず	A	備考
安定型・ 管理型 ・遮断型 014-S63-005	320t	20t	250t				管理型ではあるが、硫化水素の分析をしたところ、添付の分析表のとおり、問題なかった。
安定型・管理型・遮断型							
安定型・管理型・遮断型							
安定型・管理型・遮断型							
合計	320t	20t	250t				

注 1.この報告書は、前年4月1日から3月31日までに処分した産業廃棄物の量を記載して6月30日までに提出して下さい。
2.処理した産業廃棄物の種類をA欄に記入して、それぞれの種類ごとに年間の処分量を記入して下さい。

1.埋立処分に係る維持管理のために講じた処置

飛散処分・流出防止措置(覆土等)	もえがらは飛散性が高いため、埋立てた直後に覆土(1.5m)して、ブルドーザーにより転圧している。
薬 剤 散 布	スミチオン系乳剤(PQ乳剤)を3回(7, 8, 10月)散布した。
埋 立 物 の 分 析	溶出試験結果は、いずれも基準値以下であるが、もえがらのCd、Pbに関してはばらつきがあるので、この2項目については毎月1回追加試験する考えである。
水 処 理 施 設 の 維 持 管 理	貯留槽の清掃を1回(9月)実施した。
放 流 水 (浸 出 水) の 水 質 検 査	毎月1回実施している。放流水は環境省令に規定する基準を満足している。しかし、覆土量と比例してBOD値が変動する傾向があるので、今後は覆土量を増加する方向で検討している。
そ の 他 の 管 理	浸出水の処理前の水(原水)を4回(4, 7, 10, 1月)分析を行った。

(注) 埋立物の分析、放流水(浸出水)の水質検査を実施している場合は、分析結果の写しを添付して下さい。

2.各責任者

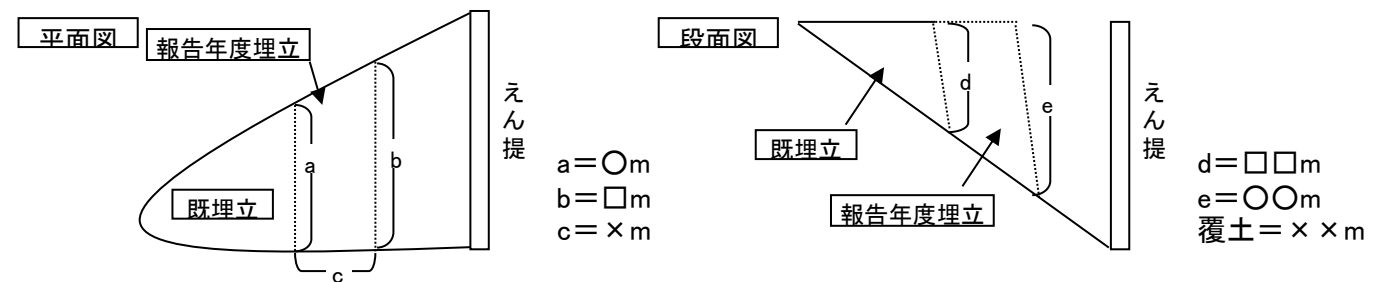
産業廃棄物処理責任者	職 管理部長	氏名 ○○ △△		
技 術 管 理 者	職 管理課長	氏名 ×× □□	資格の有無	☑・無

3.最終処分場の状況

計 画 面 積 (m ²)	5,000
計 画 容 量 (m ³)	20,000
残 存 面 積 (m ²)	1,500
残 存 容 量 (m ³)	6,000
残存容量の算定根拠	
(例) 測量により断面積から計算	
(例) 受入実績と嵩比重から計算	

※計算書を添付すること

4.埋立状況 下図のように模式図で表し、別紙で添付すること。



記入者	所属 管理課	電話番号 ○○○-○□□-○○○○
	氏名 ×× □□	FAX番号 ○○○-○□□-○○○□